

社内トイレをEM活用清掃

福井県敦賀市にある電子部品を製造している工場でEMを活用して清掃を行っている。

1. EM導入経緯

以前の工場の担当主事がEMという環境浄化微生物資材で清掃する事でバイオの力でトイレの匂いや汚れを分解してくれて、合成系・化学系の薬品を使用しなくても清掃ができる技術として現在主にトイレの清掃に使用している。

以前は社内でEMを活性化させ使用していましたが、作る手間や安定した品質などを考えて現在溶液は北陸EM普及協会より購入し使用している。

現在微生物酵素を配合した無臭タイプの浄化洗剤を使用している。以前もコメヌカを添加したEM活性液を使用した所、現場でヌカ臭で臭いなどの苦情がありトイレが酸っぱいにおいがするという意見もあり現在の溶液に変更した。

2. EMの活用状況と効果

使用状況としては、そのEM溶液を約5倍～10倍程度に希釈して噴霧したり、バケツに希釈液を作りその溶液で、床面やトイレの便座をブラッシングして、水洗いして仕上げるという工程で作業している。特に普通の洗剤ならば、塩素系や化学薬品臭がありますがそういった匂いもなく、基本的な汚れは落とせるので、作業者の体にもやさしく排水後も汚れを分解してくれるので、効果的です。



3. 工夫している点

実際の清掃業は委託で外部の会社より清掃に来てもらい清掃作業を行う方式です。その担当者にも話を聞きましたが、たしかに他の現場では強い薬品やそういう業務用の洗剤も使用しますが、ここの現場ではそれがないので、万が一皮膚に洗剤がかかったり、衣服に付着しても、天然の物なので安心という感覚はあります。特に検証したわけではありませんが、汚れ分が落ちて、環境にやさしく微生物のパワーで綺麗になるんだと考えればこれは環境にやさしい清掃と感じられます。微生物というとなにか嫌なイメージに思う人もいますが、ここの現場ではEMを活用してトイレ清掃というあまり目に見えにくい場所で日本の発酵技術を活用した清掃に取りいれています。